



ようごしゅう 用語集



アーリーエンゲージ(やや重い反則)

スクラムを組むとき、レフリーの声に合わせず先に組んでしまう反則。

アーリープッシュ(やや重い反則)

スクラムにボールを投入する前に、スクラムをおしてしまう反則。

アクシデンタルオフサイド(軽い反則)

ボールを持った選手が前方にいる味方の選手に接触し、ディフェンスの妨げになった場合に取られる反則。

アンプレアブル

モールやラックからボールが出ず、プレー続行不可能となること。基本的には、モールアンプレアブルの場合はディフェンス側ボール、ラックアンプレアブルの場合はアタック側ボールのスクラムとなる。

イリーガルホイール(重い反則)

故意にスクラムを回す反則。

インターセプト

相手のパスを途中で横取りするプレー。パスカットのこと。

インテンショナルノックオン(重い反則)

意図的にボールをはたき落とすなど、故意にボールを前に落として相手のプレーを妨げる反則。

オーバーザトップ(重い反則)

相手側に倒れ込んでボールが出るのを妨げる反則。

オープンサイド

スクラムや密集を起点に、タッチラインまでのエリアが広いサイドのこと。

オフザゲート(重い反則)

ブレイクダウンに横から参加してしまう反則。

オブストラクション(重い反則)

ボールを持っていない選手が、相手の邪魔をする反則。

オフロードパス

タックルをされながら味方に放るパスのこと。

キックオフサイド(重い反則)

キックを蹴った選手より前にいる味方のオフサイドプレーヤーが、蹴られたボールに対してプレーすること。

キャップ数

国の代表として、テストマッチに出場した回数。

キャリーバック

自陣のインゴールに自ら持ち込んでボールを置くこと。オウンゴールにはならず、5mラインでの相手ボールスクラムで再開。

クイックスローイン

ラインアウトを待たずに、タッチラインからすぐさまボールを投げ入れること。

グラウンディング

持っているボールを地面に着けること。

ゲイン

前に進み、陣地を獲得すること。

ショートラインアウト

少人数で行うラインアウトのこと。少なくとも二人以上が必要。

ジャッカル

タックルを受け倒れた選手に立ったまま絡み、ボールを奪い取るプレー。

ショルダーチャージ(重い反則)

相手を腕で抱え込まず(バインドせず)、肩からぶつかりにくい危険なプレー。

スクラムホイール

スクラムが90度以上まわってしまうこと。もう一度スクラムの組み直しとなる。

スリークォーターバックス

ウィング(11番・14番)とセンター(12番・13番)のこと。

セカンドロー

ロック(4番・5番)のこと。スクラムを組むときに2列目に位置することからそう呼ばれる。

ダイレクトタッチ

自陣22mラインより前、もしくは22mラインより前から戻したボールを、バウンドさせずに直接タッチラインの外に蹴り出してしまうこと。

蹴った地点まで戻ってのラインアウトとなる。

ターンオーバー

ディフェンス側がアタック側のボールを奪い、攻守が逆転すること。

チャージダウン

相手のキックを防ぐために、自分の身体を投げ出してブロックするプレー。この場合、手に当たってボールが前に落ちてモックオンにはならない。

テストマッチ

国の誇りをかけた、ナショナルチーム同士の真剣勝負のこと。親善試合ではない。

ドライビングモール

モールを形成し、攻撃側が敵陣に向かってモールそのものを押し込んでいくプレー。

ドロップアウト

相手が持ち込んだボールを、ディフェンス側がインゴールで押さえること。22m内からのドロップキックで再開。

ノックオンオフサイド(重い反則)

ノックオンしたボールに、オフサイドの位置にいる味方の選手が触ってしまう反則。

ノットストレート(軽い反則)

スクラムやラインアウトでボールをまっすぐ投げ入れない反則。

ノット1m(やや重い反則)

ラインアウトで、相手チームと1mの間隔を取らなかった反則。

ノット10m(軽い反則)

キックオフのときに、蹴り上げたボールが10mラインに達しない反則。

ノット10mバック(重い反則)

フリーキックやペナルティキックのときに、反則を犯したチームはその地点から10m下がらなければいけないが、下がらないままプレーに参加する反則。

ノーボールタックル(重い反則)

ボールを持っていない選手にタックルをする反則。

ハイタックル(重い反則)

肩よりも上にタックルをする反則。

バックスリー

ウィング(11番・14番)とフルバック(15番)のこと。

バックロー

フランカー(6番・7番)とナンバーエイト(8番)のこと。スクラムの3列目に位置することから「サードロー」とも呼ばれる。

ハーフボックス

スクラムハーフ(9番)とスタンドオフ(10番)のこと。「ハーフトン」ともいう。

ハンド(重い反則)

ラックやスクラムの中で手を使う反則。ラックやスクラムの中では、足でボールを動かさなくてはいけない。

フェアキャッチ

自陣22mラインより後ろで「マーク」と叫び、キックをノーバウンドで捕球すること。フリーキックで再開できる。

フェーズ

連続で攻撃している回数のこと。密集(ラックやモール)ができる度にフェーズが増えていく。

ブラインドサイド

スクラムや密集を起点に、タッチラインまでのエリアが狭いサイドのこと。

ブレイクダウン

タックル成立後にできるボールの争奪戦のこと。

フロントロー

プロップ(1番・3番)とフッカー(2番)のこと。スクラムの最前列に位置することからそう呼ばれる。

ペナルティトライ

相手の不正(ペナルティ)がなければ、確実にトライだったとレフリーが判断した場合に与えられるトライのこと。認定トライともいう。ゴールキックはなく、7点が入る。

ホールディング(重い反則)

タックルをした選手が、倒した選手を放さずにつかみ続ける反則。

ボールキャリアー

ボールを持っている選手のこと。

ラインオフサイド(重い反則)

セットプレーや密集で、定められたオフサイドラインを越えた位置からプレーに参加してしまう反則。

リザーブ

ベンチで交代を待っている選手。控え選手のこと。